

# 令和7年度 学校評価アンケート（保護者） 集計結果

○実施日：令和7年11月21日 ○回答者数：221人

<評価の判断基準>A=よくあてはまる B=ややあてはまる C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

・AとBの合計（肯定評価）が、◎=80%以上、○=60%以上、△=40%以上、×=40%未満

項目	No.	評価の観点	Aの%	Bの%	Cの%	Dの%
学校	1	旭中学校は、学校経営説明会や保護者会、各種便り等で、教育方針や教育活動などをよく伝えている。	53%	43%	4%	0%
			◎			
	2	旭中学校は、保護者からの生徒に関する相談に誠実に対応している。	48%	47%	5%	0%
			◎			
	3	旭中学校は、生徒のけがや問題（友人同士のトラブルやいじめなど）に対して、迅速・適切（保護者への連絡・協力など）に対応している。	46%	48%	6%	0%
			◎			
	4	旭中学校は、挨拶や時間を守ることなど、生徒の基本的な生活習慣の定着に力をいれている。	45%	48%	7%	0%
			◎			
	5	旭中学校は、生徒が様々な場面で安全に留意した行動がとれるように指導している。	44%	47%	8%	1%
			◎			
	6	旭中学校は、生徒が安心して生活できる、いじめや暴力のない学校づくりに努めている。	41%	52%	7%	0%
			◎			
	7	旭中学校は、学年に応じて職業や進路についての適切な指導や情報提供をしている。	40%	48%	12%	0%
		◎				
8	旭中学校は、学校便りや学年便りなどとおして、積極的に情報を伝えている。	65%	32%	3%	0%	
		◎				
9	旭中学校は、授業や行事等で保護者や地域の人材や施設を活用するなど、地域と連携して教育活動を進めている。	43%	47%	10%	0%	
		◎				
10	旭中学校は、授業や学校行事などの参観や保護者面談の機会を適切に設けている。	62%	33%	5%	0%	
		◎				
11	旭中学校は、清掃が行き届いており、生活環境はきれいに保たれている。	44%	47%	8%	1%	
		◎				
12	旭中学校は、体育祭や合唱コンクール等の学校行事では、リーダーを中心に生徒が主体的に取り組むことを通して、生きる力の育成に努めている。	60%	35%	5%	0%	
		◎				
13	旭中学校は、個別に対応が必要な生徒の教育的ニーズを把握し、保護者や外部機関と連携して、特別支援教育の充実に努めている。	43%	50%	7%	0%	
		◎				
生徒	14	子どもは、学校へ行くことを楽しみにしている。	45%	39%	14%	2%
			◎			
	15	子どもは、意欲的に学習に取り組んでいる。	29%	42%	23%	6%
			○			
	16	子どもは、明るく思いやりがあり、いじめ等は行わない。	48%	49%	3%	0%
			◎			
17	旭中学校の生徒は、礼儀正しく、心のこもった挨拶をすることができる。	31%	55%	12%	2%	
		◎				
18	子どもは、学校行事（体育祭・合唱コンクール・宿泊行事等）を楽しみにしている。	30%	57%	11%	2%	
		◎				
19	子どもは、積極的に部活動に参加している。（参加していた。）※クラブチーム等の活動を含む。	59%	28%	10%	3%	
		◎				

	20	子どもは、自転車や歩行の交通ルールを守っている。	41%	43%	12%	4%	
			◎				
	21	子どもは、学校生活について、保護者に話をしたり、学校からの配付物を忘れずに渡したりしている。	29%	43%	25%	3%	
			○				
	22	子どもは、SNS・スマートフォンの利用方法について理解している。	31%	53%	13%	3%	
			◎				
保護者	23	家庭では、子どもと学校での出来事について話をしている。	41%	46%	12%	1%	
			◎				
	24	家庭では、子どもが悪いことをしたらきちんと叱っている。	70%	30%	0%	0%	
			◎				
	25	家庭では、SNSやスマートフォンの使い方について、ルールや約束を守るように促している。	52%	44%	4%	0%	
			◎				
	26	家庭では、公共の場での生活について、時と場に応じた行動がとれるよう、家庭で適切に指導している。	55%	40%	5%	0%	
			◎				
	27	家庭では、交通安全に向けて、自転車や歩行の交通ルール等について、子どもと話す機会を設けている。	45%	46%	9%	0%	
			◎				
教職員	28	旭中学校の教職員は、わかりやすい授業を心がけ、授業の改善・工夫に努めている。	43%	47%	8%	2%	
			◎				
	29	旭中学校の教職員は、生徒の学習評価を適切に行っている。	46%	45%	7%	2%	
				◎			
	30	旭中学校の教職員は、生徒のまちがった言葉や行動を適切に指導している。	45%	49%	5%	1%	
			◎				
	31	旭中学校の教職員は、生徒の悩みや相談に親身になって応じている。	45%	47%	6%	2%	
			◎				
	32	旭中学校の教職員は、生徒の良い点を伸ばし、やる気（意欲）を高めている。	42%	47%	9%	2%	
			◎				

#### 《保護者アンケートのまとめ》

- ・【学校】についての質問項目では、No1やNo8のように学校から保護者や地域への情報発信について肯定評価の割合が高いことがわかる。その他では、No2保護者や生徒からの相談に関する項目やNo12学校行事への取組について肯定評価の割合が高い。
- ・【生徒】についての質問項目では、No16に見られるように、子どもたちの人柄の良さについて、肯定評価が高いことがわかる。
- ・一方で、No15学習への取り組み、No21生徒と保護者のコミュニケーションに係る項目については、肯定評価が低下し、課題が残るところである。
- ・【保護者】についての質問項目では、No25善悪の判断、No26スマートフォン等の適切な使用、No27公共のマナーに係る項目で肯定評価が高い割合を示していることがわかる。
- ・【教職員】についての質問項目では、どの項目についても肯定評価が90%程度と比較的高い割合を示している。

#### [今後の課題]

○No15学習への取組について、家庭学習の様子であることが予想される。自学の進め方について、各教科からの指導、学校と保護者の情報共有に改善、工夫の検討をする必要がある。

## 令和7年度 学校評価アンケート（生徒） 集計結果

○実施日：令和7年11月28日 ○回答者数：341人

<評価の判断基準>A=よくあてはまる B=ややあてはまる C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

・AとBの合計（肯定評価）が、◎=80%以上、○=60%以上、△=40%以上、×=40%未満

No.	評価の観点	Aの%	Bの%	Cの%	Dの%
1	学校は楽しい。	59%	33%	6%	2%
		◎			
2	きまりを守って生活している。	60%	36%	4%	0%
		◎			
3	あいさつをしっかりとっている。	62%	35%	3%	0%
		◎			
4	そうじをしっかりとっている。	58%	38%	3%	1%
		◎			
5	友達と仲良く生活している。	77%	19%	2%	2%
		◎			
6	授業にどの教科もまじめに参加している。	50%	39%	9%	2%
		◎			
7	授業はどの教科もわかりやすい。	33%	50%	14%	3%
		◎			
8	先生は、悩みや相談にのってくれる。	68%	26%	5%	1%
		◎			
9	家庭学習を進んで行っている。	36%	36%	17%	11%
		○			
10	本を読むのは好きである。	28%	33%	23%	16%
		○			
11	自転車や歩行の交通ルールを守っている。	64%	33%	3%	0%
		◎			
12	部活動に積極的に参加している。（参加していた）※クラブチーム等の活動を含む。	72%	17%	4%	7%
		◎			
13	行事（体育祭、合唱コンクールなど）に積極的に参加している	77%	20%	2%	1%
		◎			

### 《生徒アンケートのまとめ》

・No2～No5の「きまりを守る」「あいさつをする」「そうじをする」「友達と仲良くする」などの基本的な生活習慣に関わる設問に対する回答やNo13「行事への積極的な参加」に対する回答は肯定評価がとても高く、これが、No1「学校は楽しい」の肯定評価92%につながっていると考えられる。

・また、No8についても肯定評価がとても高く、学校職員との良好な関係もNo1の数値につながっていると考えられる。

・気になるポイントは学習に関わる設問に対する評価である。

・No6、7の授業への取り組みに関する設問では、いずれも80%を超える肯定評価となっているが、基本的な生活習慣に関わる設問に比べると肯定評価の割合が低くなっている。

・これは、No9「家庭学習への取り組み」やNo10「読書への関心」に対する肯定評価が著しく低いものになっていることとつながっていると推測できる。

### [今後の課題]

○日頃より、本校生徒の実態に合わせ、基礎基本の定着を目標に授業改善を行ってきたが、より一層の研修を重ねることで、興味関心の高まりを目指していく。

○また、各家庭への働きかけと協力により、自学を重ねられる生徒の育成を目指す。

○No11「自転車や歩行の交通ルール」に関する設問については、例年、肯定評価がとても高い。

○しかし、これについては、実態との乖離を感じる場面も少なくない。適切な通行について、具体性をもった振り返りと修正ができる場面を持って、生徒とともに考えていきたい。

# 令和7年度 学校評価アンケート（教職員・自己評価） 集計結果

○実施日：令和7年11月21日 ○回答者数：26人

<評価の判断基準>A=よくあてはまる B=あてはまる C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

・AとBの合計（肯定評価）が、◎=80%以上、○=60%以上、△=40%以上、×=40%未満

No.	評価の観点	Aの%	Bの%	Cの%	Dの%
1	学校教育目標・学校経営の方針を常に念頭に置いて、職務を遂行している。	38%	58%	4%	0%
		◎			
2	経営の重点1「授業改善と学力向上」について・・・基礎基本の定着に努め、授業力の向上、生徒の学力向上を実践している。	54%	42%	4%	0%
		◎			
3	経営の重点2「特別支援教育の推進」について・・・特別支援教育の視点を意識して生徒指導を行っている。	46%	50%	4%	0%
		◎			
4	経営の重点3「組織的な生徒指導の推進」について・・・職員間の連携（報告・連絡・相談）をこころがけ、協力して生徒指導に取り組んでいる。	65%	35%	0%	0%
		◎			
5	経営の重点4「安心・安全で信頼される学校づくり」について・・・生徒の生命や安全を第一に考え、安全点検（触視）を実施し、適切な安全管理を行っている。	62%	38%	0%	0%
		◎			
6	保護者や生徒から相談を受けた時は、親身になって話を聞き、誠意を持って迅速に対応している。	85%	15%	0%	0%
		◎			
7	いじめの根絶を意識し、暴力のない学校・学級・部活動作りを実践している。	73%	27%	0%	0%
		◎			
8	進んで校内外の研修に参加し、自己研鑽を行っている。	38%	46%	12%	4%
		◎			
9	校務分掌を理解し、他の職員と協力して責任を持って職務にあたっている。	58%	35%	7%	0%
		◎			
10	部活動の顧問として、適切な指導計画のもとに経営を行っている。	35%	46%	15%	4%
		◎			
11	PDCAサイクルを実践し、教育活動の改善と質的向上を実現している。	27%	69%	4%	0%
		◎			
12	不祥事根絶を常に意識し、モラルの高揚に努め、教育公務員にふさわしい対応・言動をとっている。	77%	23%	0%	0%
		◎			
13	働き方改革を意識して、職務にあたっている。	35%	42%	23%	0%
		○			
14	義務教育9年間を見通した連続性のある教育の視点をもって指導にあたっている。	35%	62%	3%	0%
		◎			
15	授業の中で、学習規律の指導や生徒指導の機能を生かした授業を実践している。	46%	50%	4%	0%
		◎			
16	キャリア教育について、適切な情報を提供し、望ましい職業観の育成を実践している。	27%	65%	8%	0%
		◎			
17	読書指導について、読書の楽しさを啓発している。	12%	50%	35%	3%
		◎			
18	生徒理解に努め、一人一人のニーズに応じた支援を実践している。	50%	46%	4%	0%
		◎			

19	いのちを大切に作る心、思いやりの心を育てるとともに、人権意識の向上を図っている。	58%	38%	4%	0%
		◎			
20	望ましい生活習慣や規範意識の育成を実践している。	50%	50%	0%	0%
		◎			
21	生徒の主体性を育み、自律を促すのための指導・支援を実践している。	50%	50%	0%	0%
		◎			
22	旭中学校は、積極的に保護者や地域の団体・行事に関わりを持っている。	35%	54%	11%	0%
		◎			
23	旭中学校は、各種便りや保護者会で、教育方針を伝えたり、生徒の様子を具体的に紹介している。	58%	38%	4%	0%
		◎			
24	旭中学校は、地域の人材や教材を積極的に活用している。	15%	62%	19%	4%
		○			
25	旭中学校は、小学校や高等学校と連携し、系統性のある学習指導・生徒指導を実践している。	23%	73%	0%	4%
		◎			

《教職員アンケートのまとめ》

・No4「組織的な生徒指導」No5「適切な安全管理」No6「保護者や生徒との対話」No7「いじめ撲滅」No20「望ましい生活習慣」など、生徒のより良い生活習慣や環境に関する質問の回答では、肯定評価が100%であった。

・同様にNo12「不祥事根絶」に係る質問についても肯定評価が100%であったことから、自分自身が教職公務員の一人である自覚を強く意識している職員が多いことがうかがえる。

〔今後の課題〕

○No13「働き方改革への意識」やNo24「地域人材、教材の活用」について、比較的に見て、肯定的評価が低くなっている。どちらも現在の教育現場にとって注目すべき視点の1つである。精選され効率的な業務の遂行や地域とともに学ぶ態度の育成等により一層意識を置くように学校全体で心がけたい。

○No17「読書活動について」は生徒についても肯定評価の低い項目である。読書活動が少ないことを自覚している。活動の持ち方について検討していきたい。